

## 1 ビサコジル坐剤

2 **製剤均一性の項を次のように改める。**

3 製剤均一性 (6.02) 次の方法により含量均一性試験を行うと  
4 き、適合する。

5 本品1個をとり、テトラヒドロフランを加え、40℃に加温  
6 し、振り混ぜて溶かす。冷後、1 mL中にビスコジル  
7 ( $C_{22}H_{19}NO_4$ )約0.2 mgを含む液となるように、更にテトラヒ  
8 ドロフランを加えて正確に  $V$  mLとする。この液5 mLを正  
9 確に量り、以下定量法を準用する。

10 ビサコジル( $C_{22}H_{19}NO_4$ )の量(mg) =  $M_S \times Q_T / Q_S \times V / 50$

11  $M_S$  : ビサコジル標準品の秤取量(mg)

12 内標準溶液 パラオキシ安息香酸エチルのアセトニトリル  
13 溶液(3→100000)

14

15